

新規事業採択時評価結果（令和2年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
担当課長名：奥村 康博

事業の概要

事業名	一般国道188号 柳井・平生バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自：山口県柳井市南町5丁目 至：山口県熊毛郡平生町宇佐木	延長	2.2 km		
<p>事業概要</p> <p>一般国道188号は山口県岩国市から山口県下松市に至る延長約72kmの主要幹線道路である。</p> <p>一般国道188号柳井・平生バイパスは、山口県東部沿岸地域の主要幹線道路ネットワークの役割を担う、山口県柳井市南町5丁目から山口県熊毛郡平生町宇佐木に至る延長2.2kmの道路である。</p>					
<p>事業の目的、必要性</p> <p>一般国道188号柳井・平生バイパスは、柳井・平生地域の交通の円滑化及び交通安全の確保、救急医療機関への速達性向上、地域産業の活動支援に寄与するものである。</p>					
全体事業費	約70億円	計画交通量	約18,200台/日		
<p>事業概要図</p>					

関係する地方公共団体等の意見

【山口県知事】
「一般国道188号 柳井・平生バイパス」を予算化することについて同意します。
当該区間の整備により、朝夕の渋滞解消や交通安全の確保、救急医療機関への速達性・確実性の向上、災害時等における代替機能の確保、さらには、物流の効率化や交流人口の拡大、企業誘致の促進など、住民の安心・安全の確保や地域の活性化が期待され、その早期整備は地元の悲願です。
山口県としては、当該道路の整備効果を早期かつ確実に発現させるため、地元市町と連携して、事業の円滑な推進に向けて用地取得や地元調整等の環境整備、地域の利便性向上に資するアクセス道路の整備等に取り組んでまいります。また、地域の安心・安全の向上につながる土穂石川の河川改修工事についても、引き続き、当該道路事業と調整を図りながら進めてまいります。
つきましては「一般国道188号 柳井・平生バイパス」を令和2年度の新規事業として予算化していただきますようお願いいたします。
なお、幹線交通と域内交通などの利用形態を考慮し、現道区間の今後の整備・管理のあり方については、貴省及び地元市町とともに議論を重ねていきたいと考えております。

学識経験者等の第三者委員会の意見

・新規事業化については妥当である。

事業採択の前提条件

費用便益：便益が費用を上回る。
手続き等：都市計画決定手続き完了（R2.2.21）

事業評価結果

費用便益分析	B/C	1.4	総費用 57億円 （事業費：49億円 維持管理費：7.9億円）	総便益 77億円 （走行時間短縮便益：70億円 走行経費減少便益：6.2億円 交通事故減少便益：1.4億円）	基準年 令和元年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C= 1.1 (交通量 -10%)	B/C= 1.7 (交通量 +10%)		
		事業費変動	B/C= 1.3 (事業費 +10%)	B/C= 1.5 (事業費 -10%)		
	事業期間変動	B/C= 1.2 (事業期間 +20%)	B/C= 1.5 (事業期間 -20%)			
事業の影響	評価項目	評価	根拠			
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	◎	<ul style="list-style-type: none"> 対象区間は整備済み区間に挟まれた2車線区間となっているため、交通容量不足に起因する著しい交通混雑が発生。混雑度1.25を超え、交通混雑による地域間道路ネットワーク機能が低下。 バイパスの整備及び現道拡幅により、交通混雑が緩和され、地域間を結ぶ円滑な道路ネットワークを確保。 【対象区間の通過時間】 現況：6分 → 整備後：2分（約4分短縮） 		
		事故対策	◎	<ul style="list-style-type: none"> 対象区間の現道は、死傷事故率が高い交差点が連続して存在。全国平均（64.7件/億台キロ）の最大約2.9倍の箇所が存在し、安全性に課題。 バイパスへの通過交通の転換により、現道188号の安全性が向上。 【死傷事故件数の減少】 現況：14件/年 → 整備後：11件/年（3件/年〔約2割〕減少） 【死傷事故率の減少】 現況：93件/億台キロ → 整備後：70件/億台キロ（23件/億台キロ〔約2割〕減少） 		
		歩行空間	◎	<ul style="list-style-type: none"> 安心して利用できる歩行空間が整備され、地域の安全性が向上。 【歩行者交通量108人/朝ピーク3hである区間の歩道幅員】現況：1.6m → 整備後：3.5m 		
	社会全体への影響	住民生活	◎	<ul style="list-style-type: none"> 柳井市・平生町周辺から第二次救急医療施設まで30分以内の搬送が困難な地域が存在。 バイパス整備により、第二次救急医療施設へのアクセス性が向上し、救急医療活動を支援。 【柳井市・平生町周辺地域における救急医療施設への30分カバー圏域】 現況：61.9万人 → 整備後：62.1万人（約0.2万人増加） 【平生町役場から周東総合病院までの所要時間】 現況：9分 → 整備後：7分（約2分短縮） 		
		地域経済	◎	<ul style="list-style-type: none"> 柳井・平生地域は、東西方向の幹線道路が不足しており、交通集中により交通混雑が発生。周辺の工業地域等の企業の物流効率が低下。 バイパス整備により、交通混雑が緩和し、物流効率化が向上。 		
		災害	-	注目すべき影響はない		
環境		-	注目すべき影響はない			
地域社会	-	注目すべき影響はない				
事業実施環境	○	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画決定手続き完了（R2.2.21） 山口県知事等より早期事業化を要望 				

採択の理由

費用便益比が1.4と便益が費用を上回っているとともに、都市計画決定手続きが完了し、事業採択の前提条件が確認できる。
また、当該区間の整備により交通の円滑化や交通安全の確保、救急医療機関への速達性向上、地域産業の活動支援が期待でき、事業の必要性・効果は高いと判断できる。
以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。